



発行 菊水地区まちづくり  
ネットワーク会議  
会長 真鍋 義雄  
菊水まちづくりセンター 内  
(菊水7条2丁目2-20)  
電話 811-9445 FAX 811-3831

## 新年のご挨拶

菊水地区まちづくりネットワーク会議  
会長 真鍋 義雄



皆様新年おめでとう御座います。輝かしい新春を皆様健やかに迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、この新しい年が皆様にとりましてより良い年に成ります事を心からご祈念申し上げます。

昨年北海道においては、サミットの洞爺湖開催決定、交通事故死者数の三年連続ワースト1返上、日本ハム球団パリーグ2連覇、コンサドーレのJ1昇格等若干明るい話題もありましたが、相対的には食品表示偽装事件、夕張市の

財政再建団体の指定のほか、何といっても、原油の高騰に伴う灯油やガソリン等生活必需品が値上げされる中、景気の方も相変わらず低迷が続いており、あまり明るい話題はなかったように思われます。

このような大変厳しい状況の中で、昨年3月「菊水地区まちづくりネットワーク会議」を設立した所ではありますが、設立初年度とは言え活動が停滞していたことに対し、深くお詫びを申し上げます。今年は各関係団体と密接な連携を図り、本会議の設立目的である菊水地区の安全・安心なまちづくりのために、努力してまいります。

## 第1回白石区まちづくり活動報告会開催

10月9日(火)午後3時30分より、ベルクラシック札幌フローラで「まちづくり協議会情報交換会」が開催されました。これは、白石区町内連合会連絡協議会が主催する「自治組織代表者研修会」の一環として実施されたもので、各地区から総勢200人ほどの人たちが集まりました。白石区にある8地区のまちづくり協議会のうち、時間の関係もあり4地区のまちづくり協議会から、それぞれの活動状況について報告がありました。白石、北東白石地区からは、「地域住民による防犯パトロール活動」について、北白石地区からは、「DIG(災害図上訓練)を契機にした防災・防犯などのまちづくり活動」について、報告がありました。東白石地区からは、「児童会館との連携によるまちづくり活動」について、報告がありました。菊水地区からも25名ほどの住民が参加しましたが、報告会に引き続いて開催された懇親会の席上

では、「ぜひ来年は、菊水地区が発表しよう。」「自分たちが日頃取り組んでいることを継続していくことが大切だ・・・」などといった意見が数多く出されていました。

(8地区：白石、東白石、東札幌、菊水、北白石、北東白石、白石東、菊の里)



各地区代表者の発表を、真剣に聞く参加者

# トピックス

## 防犯・防災パトロール

今回は、菊水南連合町内会の活動を紹介致します。同町内会の防犯パトロールは犯罪者や変質者から地域を守り、高齢者や子どもなど弱者が安心して暮らせる地域社会を作るため平成17年に自主防犯パトロール隊（菊水南セフティ・リリース）が結成されました。隊員は各単位町内会より選出された勇士36名が登録されています。毎月一回全隊員が指定場所に集合、隊長の訓示（連絡事項）の後、各担当町内をパトロール。若者に対する“声かけ”“住民に対する防犯・防災意識の啓蒙”又、“近郊で事件発生時は、緊急連絡網により通学路の見守り活動”を実施しています。特に、同パトロール隊の特徴は、「見せるパトロール」を意識し、帽子、ベスト、腕章、のほかに一部の町内では「拍子木」や、「誘導灯」も活用し、ただもくもくと歩くより張り合いが出るし、周囲に活動を知

らしめる為にも有効です。特に防犯活動を通じて地域の連帯感が強くなったように感じます……。隊員のお話でした。

（菊水西連合町内会は「ふくろう隊」、その他の連合町内会も、活動中です。）



菊水南セフティ・リリース隊、出発前の訓示



(拍子木)



(誘導灯)

### ごみ有料化市民意見交換会開催

11月30日（金）午後6時から、菊水地区会館で「スリムシティさっぽろ計画」の素案に関する意見交換会が開催されました。会館には50名を超える菊水地区の住民が集まり、白石清掃事務所の職員の説明に耳を傾けました。この計画は今後10年間におけるごみの減量やリサイクルなどについての新たな計画です。家庭から出るごみの量を減らすために、家庭ごみの有料化を行うほか、新たに「雑がみ」（おかし箱や紙袋など）を資源物として回収することや、ごみステーションの管理を支援するために、「さっぽろごみパト隊」を配置することなどが盛り込まれています。

又、意見交換会では、大勢の参加者から熱心な意見が寄せられましたが、特に「一部住民のごみ出しマナーが悪いために、ごみステーションがカラスに荒らされる」との問題提起が数多くありました。また、その解決策の一つとして「既存の共同住宅に、ごみステーションの設置を義務づける」といった、条例の制定はできないか

（平成5年、札幌市共同住宅ゴミ保管場所設置に関する指導要綱）等、切実な悩みを訴える声もありました。ごみ出しマナーの問題は、地域で暮らす人々がお互いに協力し合うことでしか解決できない問題ではないでしょうか。決して一朝一夕に解決出来る問題ではありませんが、地域として何が出来るかを皆で考えて行くことも大事なのではないのでしょうか。



良く見かける、ごみステーションの状態

# トピックス

## 菊水町内会連絡協議会 平成20年新年交礼会

1月11日(金)午後6時から、菊水地区会館において「菊水町内会連絡協議会新年交礼会」が開催されました。横山白石区長始め、白石警察署長、各連合町内会会長、菊水地区各団体役員、の皆様が出席されました。冒頭、真鍋会長の挨拶に続き、横山白石区長の挨拶、又、当日は菊水地区の「安全・安心な地域社会の実現」を目指した「暴追運動」に対し、白石警察署長より、感謝状と記念品が菊水町内会連絡協議会に対し授与されました。

その後、懇親会に入り、互いにテーブルを回り新年の挨拶を交わし、情報交換を致しました。



白石警察署長より感謝状を受ける、  
菊連協会長

# 白石区「成人の日」記念行事

1月14日(月・祝日)午後2時より札幌コンベンションセンターにおいて、「平成20年白石区成人の日行事式典」を、成人の日行事実施委員会主催、白石区ふるさと会後援で執り行われました。大勢のご来賓をお迎えした中で、参加した新成人は約1170人、紋付・袴、振袖スタイルでホールや会場はあでやか。赤ちゃんの頃から、成長を見守ったのはご両親だけでは有りません。おじいちゃん、おばあちゃん、ご近所の方や先生方、成人の日は、我が子の「晴れの日」であるとともに、立派な成人への道へと導いてくださった、大切な皆様への「感謝の日」でもあります。久し振りに再会した友人との談笑などに熱中するあまり会場前のホールでは、身動きが取れないほどの混み様。これでは、式典開始までに入場出来ないのでは・・・と心配してみたが、これが正に老婆心、式典開始前に入場完了。場内は静粛。

そして、式典が終了し、1170人の新成人が順次退場するときも、スタッフの誘導に整然と従った行動は、関係者に対する感謝の表現なのかも知れません。

「輝いているよ、白石っ子・・・頑張れ」



式典会場での札幌本陣太鼓



式典会場前のホールにて

まちづくりネットワーク会議 (環境・文化事業部からの提案)

ここ数年間、市内各地で道路沿線を美しくしようと、歩道のます花壇などを利用し、住民による「花いっぱい運動」が広がっています。花や緑に囲まれた美しい街並みは、そこに訪れた人達はもとより、そこに住む人にも、憩いと安らぎを与えてくれます。

そして、「花いっぱい運動」を進める中で、地域の学校、企業、商店、町内会の人達との係わり合いや、ふれあい、そして連携を進められればと思います。幸い、菊水には、この地域を縦断する両側4車線の「米里通」があります。この「米里通」の両側に統一された花（例えば、菊の花、マリーゴールド・・）を植えることにより、素晴らしい景観になります。又、この道路沿

線に、菊水全ての連合町内会が面しており、協力しやすい有利な条件が整っています。訪れた人達が、記憶に残る、そんな文化のある、そんな街並みになればと思います。現在事前調査や準備を行っています。地域の皆様のご協力をお願いいたします。



**「菊水地区まちづくりネットワーク会議」ってなんですか？**  
札幌市では、昨年4月に「自治基本条例」が施行されました。これは市民が主役になって「まちづくり」を進めるためのルールです。市民、議会、行政のそれぞれの役割や、仕組みが規定されています。「だれかがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心でいるのではなく、ひとりでも多くの市民が参加し「自分達の地域は自ら考え、皆と一緒によりよくしていく」そして「行政と連携・協働しながら地域づくりをして行く」これが「住民自治」であり「菊水地区まちづくりネットワーク会議」です。地域のことは、地域に住む人が一番よく知っています。困っていることがあれば、まず自分達でやってみる、必要なら行政と協力して問題を解決して行く、これが「住民自治」です。

編 集 だ よ り

菊水地区まちづくりネットワーク会議の広報誌「菊まちネット」の編集委員(総務・企画部)を紹介致します。皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしております。  
西町 本田忠男      北町 折原政幸      南町 浅野輝雄      上町 谷内山與惣吉  
西町 加藤幸子      北町 中村光雄      東町 田上昇旦      上町 中塚順道